

漢方薬局いちやく草は、7月8日にお陰様で八周年を迎えました。ここまで来られましたのも、お客様はじめ当店に係ってくださいました皆様のお陰です。ころより御礼申し上げます。

改めて、薬局名の由来をご紹介致します。

山野草に『ベニバナイチヤクソウ』（右写真）という植物があります。山と漢方を大事にしていた亡き父が好きだったことを後日知り、この名前を薬局名にいただきました。



実は北海道のお菓子メーカー：六花亭さんの包装紙の中に見つけることが出来ます。（坂本直行さんの画です）

ベニバナイチヤクソウは、菌を介して近くの樹木から栄養をもらい生きることが出来るデリケートな山野草です。そのため、住宅地でみることは稀ですが、山に出かけますと群生を観ることも出来ます。写真は風不死岳にて以前撮影したものです。

この時期、スーパーにも並び、薬草としても用いられるものに『赤しそ』があります。

生薬名では『そよう（蘇葉）』と呼びます。

赤しそは、夏の胃腸病予防に有効です。

夏は高温多湿な気候です。それを好む菌やウイルスが胃腸に悪さをし、胃腸炎を起こします。またこの気候は胃腸の消化力、便の排泄の力を弱らせるため、食欲が低下し、軟便や下痢が起きやすくなります。そのような症状が続くと夏バテになりますので、予防&養生が大切です。

